

(本件に関する照会先)

日本銀行高松支店 総務課 087-825-1102

2019年10月10日

日本銀行高松支店

香川県金融経済概況

1. 概況

- 香川県内の景気は、回復している。

すなわち、設備投資は増加している。個人消費は、振れを伴いつつも、着実に持ち直している。住宅投資、公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。こうした中、企業の生産動向は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢をみると、労働需給は引き締まった状態が続いており、雇用者所得も緩やかに持ち直している。この間、企業の業況感は、良好な水準を維持している。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、増加している。

9月短観における設備投資（全産業）をみると、2019年度は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、振れを伴いつつも、着実に持ち直している。

大型小売店の売上は、振れを伴いつつも、着実に持ち直している。

乗用車の新車登録台数は、新車投入効果等から、増加している。

家電販売は、振れを伴いつつも、緩やかな増加傾向にある。

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

- 企業の生産動向は、横ばい圏内の動きとなっている。

輸送機械、金属製品は、高水準で推移している。非鉄金属は、振れを伴いつつも、高水準で推移している。化学、窯業・土石は、高めの水準で推移している。食料品、汎用・生産用機械、電気機械は、横ばい圏内の動きとなっている。プラスチック製品は、弱めの動きとなっている。

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給は引き締まった状態が続いており、雇用者所得も緩やかに持ち直している。

- 消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、0%台前半となっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（8月）は、前月から伸び率は横ばいとなった。

貸出約定平均金利は、前月比低下した（県内国内銀行ベース、8月末0.959%〈前月末0.962%〉）。

- 預金（8月）は、前月に比べ前年比プラス幅が幾分縮小した。

- 倒産および信用保証協会の代位弁済については、落ち着いた状況が続いている。

以 上